

1 日 時 令和7年5月29日(木)13:30~15:00

2 場 所 愛宕小学校 本館2階 会議室

3 挨拶・自己紹介

【委員長】

- ・ 昨今、車の暴走が各地で報道されている。学校に不審者が侵入したニュースもあった。愛宕小は6月に不審者対応訓練を行う。対策をしっかりしていきたい。
- ・ 今年度も人権標語の取組を行う。各クラスで優秀賞を選出したあと、その中から最優秀賞を決めている。選出の協力をお願いしたい。

【校長】

- ・ 新年度が始まり2か月がたった。こどもたちからはあいさつが返ってくる。活発な印象であり、前向きに取り組んでいる様子がよく見られる。ここ数日、怪我が続いている。丁寧に見ていかなければならない。

【各自 自己紹介】

4 協議

(1) 令和7年度学校運営協議会の運営及び年間計画について(別紙)

○学校運営協議会日程を確認

(2) 令和7年度学校経営の改革方針及び学校関係者評価について(別紙)

○令和7年度学校経営の改革方針について協議

- ・ 学校関係者評価書の本年度の活動は、学校経営の改革方針を反映させたものになっている。年度末には、委員の皆様から学校関係者評価をいただきたい。
- ・ 令和7年度学校経営の改革方針が承認された。

(3) 地域づくり協議会との連携授業について ○資料をもとに報告

(4) 施設・設備等の課題について(別紙) ○要望箇所の進捗状況等を確認

(5) 校区の危険箇所について(別紙) ○現時点の危険箇所を確認し、その他にないか情報提供を依頼

(6) その他

○令和7年度学校配当予算等を確認(別紙)

5 委員のみなさまから出された意見(・) 学校の返答(→)

- ・ 経営方針と関係者評価がうまくリンクできてわかりやすい。
- ・ 今のこどもは褒められ慣れていないのかもしれない。自分を認めてほしい気持ちが強いように感じる。
- ・ 踏切の入ってはいけないところに入る児童がいる。踏切を渡ると、油断するのか車道に広がる傾向がある。グリーンベルトからはみ出て歩く子もいる。右左を見ずに道に出てしまうところもある。
- ・ こどもを見ていると、大人から見てできていなくても、自分自身はできていると思っているところがある。

その場で指導することが大切であろう。

→学校でも指導を継続していく。

- ・ 先日、学校へ登校してから忘れ物を取りに行こうとした子がいた。戻らないように話をしたが、それでよかったのか。通学路の途中で忘れ物に気づいたときはどうなのか。

→学校へ登校した後は、戻らない指導をしている。登校途中であれば、安全第一の観点からできれば戻らないように声掛けをしてほしい。

- ・ 新一年生の下校見守りについて。対応する下校グループの子が誰かがわかるように明確にするべきである。下校を始めてから、グループが混ざらないように、集合場所や出発する時間差等の工夫をすべきである。

→2 か月がたち、無事に下校できている様子である。来年度に向けて、どのような方法があるのか検討していく。

- ・ 朝の読み聞かせについて。読み聞かせボランティアのみなさんは、読む速さ、時間配分等を考え、事前準備し読み聞かせに臨んでいる。各担任の先生により、読み聞かせの時間の捉えが違っているようである。学校として共通認識をしてほしい。

→学校として、読み聞かせの時間を大切にしたいと考えている。再度、教職員の共通認識を図る。

6 コミュニティ・スクール推進コーディネーター（教育支援課）より

- ・ 任命書を置かせていただきました。4月30日まで1年間の任期です。1年間よろしくお願いします。
- ・ 学校長は異動して、愛宕小学校が1年目であるが、こどもひとりひとり育てていくこと、自己肯定感を高めること、主体的に学べることと、校長の思いがよくわかる経営方針と関係者評価であった。フリー参観や普段のこどもの様子をみながら、学校評価につなげていただければ。
- ・ 安全安心に関わって、踏切や自転車の乗り方はもちろん命にかかわることなので職員会議等で考えていかなければならないだろう。
- ・ 新入生にかかわって、付き添い下校をボランティアさんにお願いするが、どうするとよいか。ボランティアさんにだれがグループにいるのかが記載されたうちわを渡し、そこに名前だけでなく、顔もつけていくなどの工夫が考えられる。今後、学校も工夫してほしい。学校だけでなく、保護者がこどもと一緒に何度も通学路を行き帰りし、イメージを持たせることも必要であろう。このことを学校が保護者に発信していく必要があるであろう。

あたごはあたたかいまちなので今後もみなさんに見守っていただければと思います。

7 次回の予定・・・第2回 9:00 愛宕小学校 2階 コミュニティルーム